



阪急電鉄株式会社
都市交通事業本部 都市交通計画部
調査役

山西弘剛
Hirotake YAMANISHI



阪急電鉄株式会社
都市交通事業本部 都市交通計画部
調査役

九後順子
Junko KUGO



株式会社阪急レールウェイサービス
関連事業部 施設営業課
課長

寺西康祐
Yasusuke TERANISHI

阪急電鉄が展開する新しい自転車サービス

レンタサイクルで 所有からシェアリングへ。

自転車を重要な末端交通手段の一つとして位置づけ、

駐輪場とレンタサイクルを一体化、鉄道利用者のための自転車サービスに取り組む阪急電鉄。

特にレンタサイクルは、自転車を共有することによって、駅に近い便利なスペースを多くの人に利用してもらえるなどメリットが多い。

違法駐輪を抑制する効果も期待できる。

所有からシェアリングへ、借りるほうがお得な仕組みでレンタサイクル利用者を増やし、
自転車の新しい利用スタイル普及に取り組んでいる。

文●茶木 環 (ジャーナリスト) 撮影●織本知之



特集
鉄道と端末交通の充実
【鉄道+都市型レンタサイクルの可能性】

やし、利用客数を伸ばし続けている。

10年目を迎えた阪急電鉄の阪急レンタサイクルは、4月にオープンした水無瀬駅を加えて18営業所を数える。

営業所の増設と大幅値下げ

鉄道利用者のための端末交通手段の充実に取り組む、阪急電鉄の姿勢がみてとれる。

「阪急電鉄のホームページを開き、トップページの「路線図・駅情報」をクリックする。各駅の「阪急タクシーのりば」「阪急バスのりば」「阪急レンタサイクル」「阪急駐輪センター」の有無をマークで示した路線図が画面に現れる。駅からの交通手段が一目で分かる路線図だ。

トップページ「駅サービスのご案内」から「阪急レンタサイクル」に進む。阪急レンタサイクルの営業所一覧が掲載されており、利用料金や営業時間がくわしく案内されている。有料駐輪場を案内する「阪急駐輪センター」のページも同様だ。

事業者がレンタサイクル事業を手掛けるには運営でつまずき、撤退を余儀なくされてきた中で、着実に営業拠点を増やしている。

うち6カ所が今年2月、一斉にオープン（一部リニューアル含む）した小規模タイプの阪急レンタサイクルS-styleだ。全保有台数は合計約2300台。急成長とは言えないものの、自治体をはじめさまざまな団体や事業者がレンタサイクル事業を手掛けるには運営でつまずき、撤退を余儀なくされてきた中で、着実に営業拠点を増やしている。

営業所の増設と大幅値下げ

1回利用は、初回貸し出し時に本人確認書類を提示して、スタンプカード式の紙製会員カードをつくる。会員カードの有効期限は6カ月または20回。どこの営業所でも利用できる。自転車は翌朝10時までに返却する。

阪急電鉄の子会社でレンタサイクル事業運営を受託している株式会社阪急レールウェイサービス 関連事業部施設利用は通勤通学に、1回利用は阪急沿線得意先回りをするビジネスパーソンに特に人気「だと言う。

阪急電鉄の概要をみてみよう。阪急レンタサイクルの利用方法は、大きく分けて定期利用と1回利用の2種類がある。いずれも借りた駅の営業所に返す往復利用で、定期利用は1カ月と3カ月がある。定期利用を希望する場合は、本人確認書類、保証金5000円（退会時に返却）と定期利用料金を用意し、利用する営業所で手続きをする。入会手続きを終えると、ICカードの会員証が発行される。利用時には、ICカードを専用の端末にかざして貸し出し、返却する仕組みだ。阪急レンタサイクルS-styleの会員証は紙製で、係員に会員証を見せて自転車を借りる。

駐輪場・レンタサイクル配置図

	駐輪場	40駅 88カ所
	コイン式時間貸し駐輪機	14駅 19カ所
	阪急レンタサイクル	12駅 12カ所
	阪急レンタサイクルS-style	6駅 6カ所

● サービスセンターのある駅



自転車も扱っている。サイズは車輪が大きい方が走りやすいことから、26インチの自転車を中心に、サドルの高さは高・普通・低の3段階を設定している。色はスタイリッシュなブルーとシルバーの2種。

また「より安全な自転車を提供するために耐用年数より早めの3年で更新している」。

係員がタイヤの空気圧チェックなどに加え、自転車専門店に依頼して定期的にすべての車体検査を実施するなど、自転車の品質管理は徹底している。

料金は定期利用の場合、今年1月



①メンテナンスは万全、レンタサイクルの魅力だ。
②貸し出し・返却時に使用する端末（阪急レンタサイクル定期利用）。
③三国駅の阪急レンタサイクルでは、ビジネスパーソンの利用率が高い。



「通常の営業所を開設するには相応のスペースが必要だが、小規模のS-styleなら開設しやすいというメリットがある。S-styleを新規開設してより利用しやすく、料金を値下げしてユーザーメリットをより明確にした」と山西調査役。

その期待どおり、定期利用者は順調に増えていると言う。

多様なニーズの利用者たち

阪急宝塚線の三国駅。駅を出て、文字通り目の前、高架下にある阪急レンタサイクルの営業所を訪ねてみた。

平日の午後1時半。60歳代の女性が自転車で戻ってくる。

「お帰りなさい」

係員が声をかけながら出迎え、女性が自転車を止めて降りるのをサポートする。利用後の車体を丁寧に拭いて保管スペースに戻す。

女性は電車で三国駅まで来て、毎回、自転車を借りて通院しているのだと言う。入院していたとき、見舞いにかけていた娘さんが阪急レンタサイクルを利用し、勧められて、退院後は自分も利用しているのだそうだ。

ほどなく30歳代のビジネスマンがやってきた。営業で付近の会社を回るので、この日は夕方6時までレンタルすると。慣れた様子で駐輪場を後にする。その後姿に係員が「行ってらっしゃい」

と声をかける。

三国駅の阪急レンタサイクル営業所は2001年1月と、草創期に近い時期に開業している。駅周辺には大きな病院や学校があり、中小規模の事業所も多い。この特色が利用者の傾向にも表れている。

定期利用（09年4月18日現在）は、休会者も含め契約者数280人。男女比は女性が約6割と多い。

昼間の利用者は196人。職業別内訳では、学生7人・会社関係130人・学校関係（教職員など）15人・病院関係11人・その他33人となっている。

夜間利用者はぐっと減少し84人。うち学生17人・会社関係46人・学校関係4人・病院関係10人・その他7人となっている。

アクセス（自宅・駅間）で自転車を利用する人は、夕方以降に借りて翌朝返却する夜間の利用者として数えられる。一方、昼間の利用者は、イグレス（駅・目的地）で使う。三国駅では、アクセス利用よりもイグレス利用のニーズが高いことになる。

「通院する、買い物に行く、営業で得意先を回る。年齢、職業にかかわらず自転車で回らなくても利用できる。土日だけなのか、平日だけなのか、まだまださまざまなニーズを掘り起こせる可能性が高い。お客さまの利便性を優先して対応していきたい」と寺西課長は意欲的だ。

まで、隣接する駐輪場の利用料金より数百円程度安いという利用者心理をよくとらえた設定となっていた。しかし、駐輪場料金が地域相場に準じているため、営業所ごとに料金が異なることになる。そこで、今年2月、定期利用料金を一律1700円（3カ月は4800円）に統一、改定前と比較すると最大で800円、平均500円の大幅な値下げを敢行した。

都市交通事業本部 都市交通計画部

の山西弘剛調査役は「さらに多くの方に気軽にご利用いただくために踏み切った料金改定。グループのSTACIAカードでクレジット決済いただく」と、さらに100円割引になり、現在はキャンペーン期間中のポイントも付くので実質1520円になる」と説明する。

この料金改定は、小規模タイプの阪急レンタサイクルS-style6営業所の開設と同時に実施した。



でも安心して利用できる」と定評がある。駐輪場の鉢植えには色鮮やかな花が咲き、柱には市内の中学校生徒の絵が飾られている。その上、毎回、係員に挨拶してもらえれば、利用者は気持ちよく出発できるだろう。

駐輪場は明るく見通しがよく、女性でも安心して利用できる」と定評がある。駐輪場の鉢植えには色鮮やかな花が咲き、柱には市内の中学校生徒の絵が飾られている。その上、毎回、係員に挨拶してもらえれば、利用者は気持ちよく出発できるだろう。

も足を延ばしてみた。ここ曾根駅の営業所は、自転車40台を保有。3年前から1回利用だけのレンタサイクルをテスト的に行っていたが、2月から阪急レンタサイクルS-styleとして本格稼働、定期利用も開始した。勾配がきついエリアであることを考慮して配備した電動自転車が好評だ。

三國駅に続いて、3駅隣の曾根駅にも足を延ばしてみた。ここ曾根駅の営業所は、自転車40台を保有。3年前から1回利用だけのレンタサイクルをテスト的に行っていたが、2月から阪急レンタサイクルS-styleとして本格稼働、定期利用も開始した。勾配がきついエリアであることを考慮して配備した電動自転車が好評だ。

「営業所の雰囲気づくりは、現場の係員の努力が大きく反映する。鉄道がほとんど自動改札になってしまった今、レンタサイクルの営業所・駐輪場は、お客さまとコミュニケーションできる貴重な場でもある」と、上村都市交通計画部長もその雰囲気づくりと魅力について語っていた。

「営業所の雰囲気づくりは、現場の係員の努力が大きく反映する。鉄道がほとんど自動改札になってしまった今、レンタサイクルの営業所・駐輪場は、お客さまとコミュニケーションできる貴重な場でもある」と、上村都市交通計画部長もその雰囲気づくりと魅力について語っていた。

「営業所の雰囲気づくりは、現場の係員の努力が大きく反映する。鉄道がほとんど自動改札になってしまった今、レンタサイクルの営業所・駐輪場は、お客さまとコミュニケーションできる貴重な場でもある」と、上村都市交通計画部長もその雰囲気づくりと魅力について語っていた。

「営業所の雰囲気づくりは、現場の係員の努力が大きく反映する。鉄道がほとんど自動改札になってしまった今、レンタサイクルの営業所・駐輪場は、お客さまとコミュニケーションできる貴重な場でもある」と、上村都市交通計画部長もその雰囲気づくりと魅力について語っていた。

「自転車が環境にやさしい乗り物だということを意識して積極的に利用してもらえようになれば」と、都市交通事業本部 都市交通計画部の九後順子調査役は、その主旨を説明する。

「自転車が環境にやさしい乗り物だということを意識して積極的に利用してもらえようになれば」と、都市交通事業本部 都市交通計画部の九後順子調査役は、その主旨を説明する。

「自転車が環境にやさしい乗り物だということを意識して積極的に利用してもらえようになれば」と、都市交通事業本部 都市交通計画部の九後順子調査役は、その主旨を説明する。

「自転車が環境にやさしい乗り物だということを意識して積極的に利用してもらえようになれば」と、都市交通事業本部 都市交通計画部の九後順子調査役は、その主旨を説明する。



曾根駅に2月オープンした阪急レンタサイクルS-style。



明るくオープンな雰囲気に定評がある曾根の駐輪場。



利用者の要望に応じて電動自転車も揃えている。

定、監視と取り締まり、放置自転車の撤去——違法駐輪と取り締まりのイタチごっこが繰り返される中、地域と鉄道事業者、自治体や警察など、関係者の連携がカギとなる。

啓発活動も重要だ。取材日の朝も、九後調査役は、南方駅前で阪急駅職員や地元自治会、大阪市サイクルサポートと共に啓発活動を行っていた。放置自転車のカゴに違法駐輪防止を呼びかけるチラシを入れていく。

「地道な活動だが、継続することで徐々に効果も出ている。ここに置けば

撤去されるということを意識づけていく」と九後調査役は話す。

自治体とも啓発活動に取り組んでいる。特筆されるのは2007年に実施した尼崎市・阪急電鉄・阪神電鉄主催、日本民営鉄道協会協力のプロジェクト「尼崎市域における自転車問題を切り口としたまちとの連携」だ。公共交通を中心として自転車をうまく使うことで人や環境にやさしいまちづくりを進めることをテーマに、イベントやシンポジウムを開催。地元の放置自転車問題に取り組む協議会の参加協力を得

て、違法駐輪防止を訴える駅前啓発活動を3カ月間行なった。

九後調査役は「最終的には自転車を利用する人、一人ひとりに訴えていかなければならない問題。関係者と連携し、継続して啓発活動を続けていきたい」と抱負を語る。

駐輪メニューを提供する

最後に、阪急電鉄が違法駐輪抑止策の一環として整備を進めているコイン式時間貸し駐輪機を紹介したい。「エコステーション21」と名付けられた駐輪機は、駅前を中心に現在14駅19カ所に設置している。料金は場所によって異なるが、最初の1時間1時間半は無料、最大6時間まで100円、以降6時間ごと100円が相場。買い物など短時間の駐輪に対応するものだ。限られたスペースに設置でき、入庫した自転車は整然と並んで、歩行者の妨げにならない。

「放置自転車をなくすのは難しいが、駐輪したいというニーズに対してメニューを提供することはできる」と山西調査役は話す。

駐輪場の「家族割」もその一環として始めたものだ。定期利用契約者は土日に関わり、家族の自転車を何台でも1台分の料金で駐輪することができ、土日に違法駐輪がさらに増える実態があるからだ。

利用者側の「事情」に細やかな心遣いで提供する独自のサービスは、沿線地域の魅力づくりを大切にしている阪急ならではの試みかもしれない。

所有からシェアリングへ

駐輪場の整備、阪急レンタサイクルの事業化、コイン式時間貸し駐輪機の設置——さまざまな工夫とともに取り組んできた阪急電鉄の駐輪場・レンタサイクル事業。特に阪急レンタサイクルは、稀有な成功例として注目を集めている。そして、所有からシェアリングへ、新しい自転車の利用スタイルを提案しながら阪急電鉄が目指しているのは「鉄道が利用しやすい便利なまち」放置自転車のないきれいなまちの阪急沿線であり、環境にやさしい社会の創造だ。

「レンタサイクルの利用は順調に伸びており、放置自転車についてもレンタサイクルがいくらか役立っている」（山西調査役）

「さまざまな取り組みを通じて、毎日の足代わりになる強力なツールとしてレンタサイクルを普及させていきたい」（九後調査役）

この4月には京都府・淀川三川と西国街道の関連自治体と連携してレンタサイクルと観光のキャンペーン「ツール・ド・三川・西国街道」を実施した。レンタサイクルの活用シーンは、さまざまな広がりが広がっていきそうだ。



①②コイン式時間貸し駐輪機「エコステーション21」が整備された曾根駅前。自転車が整然と並ぶ。
③エコステーション21の精算機。
④ポスターなどで利用を呼びかける。



Column

自転車交通が欠かせない土地柄。 特性を理解し、うまく共生していきたい。

駐輪対策の主体となる自治体は、
自転車をどのようにとらえているのだろうか。
放置自転車のワーストランキングに上がり、
早くから自転車対策に取り組んできた尼崎市に聞いた。



尼崎市都市整備局交通安全課
主任

東新 均

尼崎市域には、鉄道駅が13駅あり、高低差のない平坦な土地柄もあって駅までの移動手段としては自転車利用が非常に多いのが特徴です。自転車事故も多く、人身事故の約4割を占めており、最近では自転車が加害者になるケースや60歳以上の事故が増えています。

自転車の事故防止対策としては、ソフト、ハード、両面からの施策が必要となりますね。警察と協力して交通安全指導の「さわやかサイクル運動」を進めています。学校や老人施設で自転車のマナー指導や実地訓練を行ったり、幼稚園や保育所では人形劇を行うなどの安全教育。またハード面の対策では、自転車道の整備を進め、道路拡幅や整備の際には、歩道を広く取るようにしています。

何といっても大きいのが違法駐輪の問題です。特に駅周辺がひどい。内閣府の放置自転車の実態調査(駅周辺)では、平成7年、JR立花駅が約4000台と全国ワースト2位でした。

昭和58年の放置防止条例制定以降、駅周辺については「取り締まり撤去」「駅周辺や商業地における一定以上規模の施設・店舗の駐輪場の付置義務と駐輪場整備」「利用者に対する啓発」の三本柱で対応しています。現在は市内に4万2000台分(3分の1が市営、ほかは鉄道事業者など民間)の駐輪場が整備されて、ワースト2位だった立花駅でも500台程度に減りましたが、まだまだですね。

阪急園田、阪急武庫之荘、阪神尼崎、阪神武庫川、JR尼崎の5つのエリアでは協議会を立ち上げ、地元関係者や鉄道事業者、警察や行政が協働で放置自転車防止に取り組んでいます。一例を紹介すると、阪神尼崎の中央商店街で

は、商店街が受け皿としての駐輪場を整備し、市と警察は徹底した取り締まりを行いました。自転車で来るお客さんが多いパチンコ店は駐輪場の整理に協力し、お客さんには無料駐輪券を配る。商店街の従業員も駐輪場にきちんと止める。地域ぐるみで徹底して取り組むことが必要なんです。地域が粘り強く続けないと解決しない。

地域や商店街から提案があれば、行政はサポートします。市に任せるといってではなく、一緒にやっていただきたい。中には不可能なこともあるかもしれない。そうしたら、次を考える。地味ですが、この繰り返しで成果につながります。

一昨年、阪急電鉄・阪神電鉄・尼崎市の共催で「公共交通とまちづくりの連携を考えるシンポジウム」を開催しました。大阪大学大学院の新田保次教授にコーディネーターをお願いし、阪急電鉄の角和夫社長、阪神電鉄の坂井信也社長、白井文尼崎市長、落語家の桂小米朝さん(現在、米團治)でパネルディスカッションを行ったんですが、大変評判がよかった。このときは、「なくそう、迷惑駐輪」のキャッチコピーをつけたジャンパーや幟のグッズをつくり、駅前で違法駐輪防止を呼びかけるキャンペーンも実施したんですが、市民に広く訴えるこうした啓発活動を今後もやっていきたいと思います。

行政としては違法駐輪を厳しく取り締まっていますが、自転車を敵視しているわけではないんですね。尼崎は自転車と公共交通という交通体系が便利なまち。市民のみなさんにマナーを守って活用していただいて、自転車と共生していきたいですね。



尼崎市でも時間貸し駐輪機や駐輪場が設置されている。それでもなくならない放置自転車は強制撤去や駐車指導整理業務を行っている。